

MIDI Footswitch Manual



Darkglass Electronics

Your vision, our gear.

始める前に

操作を開始する前に、MIDIフットスイッチを最高の状態に保つために必要なことがいくつかあります。

【正しいMIDIケーブルをご使用ください】

Darkglass Exponent 500、Infinity 500 Combo:
7ピンMIDIケーブルを使用してください。

MIDI Footswitchはアンプから電源供給されます。

その他のMIDI機器:

・付属の7ピン-5ピンMIDIアダプター・ケーブルを使用し、接続のMIDIフットスイッチ側には7ピン・コネクタを使用します。

・5ピンMIDIケーブルを使用します。

7ピンMIDIケーブルを使用する場合、7ピンコネクタはDarkglassデバイス側のみ接続してください。

【最新のファームウェアにアップデートする】

MIDIフットスイッチで最高のパフォーマンスを得るために、USB経由でDarkglass Suiteに接続してファームウェアのアップデートからスタートいただくことをお勧めいたします。ファームウェアをアップデートすることで、MIDIフットスイッチのすべての機能と最新のバグフィックスを利用することができます。

始めに

Top Panel Features

5つのフットスイッチで5つのメインレイヤーと5×5のサブレイヤーアクションが可能です。

Back Panel Features

MIDI OUT/THRU(7/5ピンDINコネクタ)

・MIDI IN端子を備えたDarkglassアンプやペダルに接続が可能です。

・7ピンMIDIケーブルでDarkglass e500またはInfinity Comboに接続する場合には外部電源は不要です。

・5ピンMIDIケーブルで他の一般的なMIDIデバイスに接続が可能です。

MIDI IN(5ピンDINコネクタ)

・他のMIDIデバイスのMIDI OUT端子に接続します。

・MIDI OUT/THRUコネクタにMIDIメッセージを通過させます。

USB(USB-Cコネクタ)

・Darkglass Suiteを使用してコンフィギュレーション設定するためにコンピューターに接続します。

・設定を同期するためにDarkglass e500アンプに直接接続が可能です。

・USBパワーバンクや充電器からフットスイッチに電源供給するために使用することができます。

DC9V(センターマイナス)

・DC9Vアダプター (最小15mA)で使用が可能です。

Darkglass Amplifier(1/4" TSジャック)

・DarkglassアンプのFOOTSWITCHコネクタに接続します。

- ・Darkglass Super Intelligentフットスイッチとして動作します。
- ・外部電源は不要です。

デフォルト設定

MIDIフットスイッチの工場出荷時の設定は、Infinity 500 ComboとExponent 500のプリセット1~5のデフォルトMIDIメッセージを送信します(MIDIチャンネル1、プログラム・チェンジ2-6)。

ミュート・メッセージは有効で、すでに選択されているプリセットのフットスイッチを押すとアンプがミュートされ、チューナーが有効になります(MIDIチャンネル1、プログラム・チェンジ1)。

Super Intelligent Footswitchとして使用する

MIDI FootswitchをDarkglass Super Intelligent Footswitchとして使用するには、1/4" Footswitchコネクタを搭載しているDarkglassアンプにフットスイッチを接続します。同時に他のケーブルをMIDIフットスイッチに接続しないでください。

MIDI FootswitchのSuper Intelligent Footswitchモードは、青色のLEDで認識することができます。一番左から4つめまでのフットスイッチは、Super Intelligent FootswitchとAO Super Intelligent Footswitchの4つのフットスイッチに対応しています:

Footswitch	Super Intelligent Footswitch action	A.O Super Intelligent Footswitch action
1	CLEAN	A
2	VMT	B
3	B3K	C
4	MUTE	MUTE

MUTEを解除するには、MUTE を押すか、3つのチャンネルのいずれかを選択します。MUTE がONの場合、MUTEを解除するためにもう一度MUTE を押すと、アンプがどのチャンネルに戻るかを示すLED が点滅します。

Darkglass Suiteを使用する

WEBサイトdarkglass.com/suiteから最新のDarkglass Suiteをダウンロードしてください。

Suiteへの接続

Suiteソフトウェア起動後、付属のUSB タイプCケーブルでMIDI Footswitchをコンピューターに接続してください。

フットスイッチは、コンピューター接続時はUSB電源で動作し、システムから認識されるとすぐにLEDが電源供給の状態を示します。

基本的な操作

Suiteソフトウェアからデバイスが認識されるとすぐにMIDI Footswitchの基本設定画面が利用可能になります：

Darkglassデバイスを設定するか、一般的なMIDIコントローラーとして使用するかを選択できます。

MIDI Footswitchの設定をすでに行っている場合、Suiteは直接その設定にジャンプします。設定画面でGo Backボタンをクリックするか、左枠のMIDIフットスイッチタブをクリックすると設定画面に戻ることができます。

Settingsタブでは、ファームウェア・アップデート、MIDIフットスイッチのカスタム・ネーミング、コンフィギュレーションとすべての設定を工場出荷時のデフォルトにリセットするFactory resetにアクセスできます：

Darkglassデバイスの設定

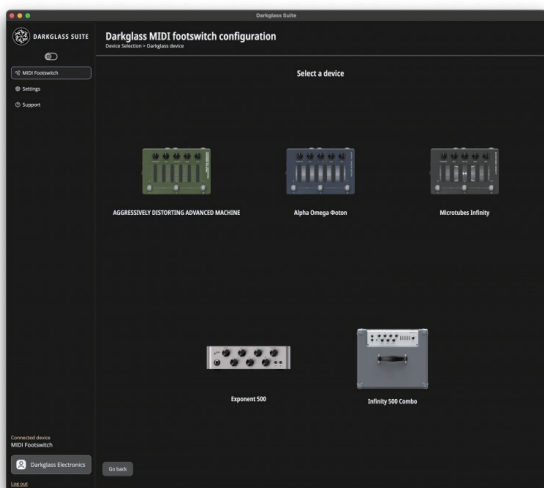
"Set up for a Darkglass device"を選択すると、以下のデバイスのデフォルトMIDIコンフィギュレーションが可能になります：

Programmable ペダル

- ・ Aggressively Distorted Advanced Machine
- ・ Alpha Omega Photon
- ・ Microtubes Infinity

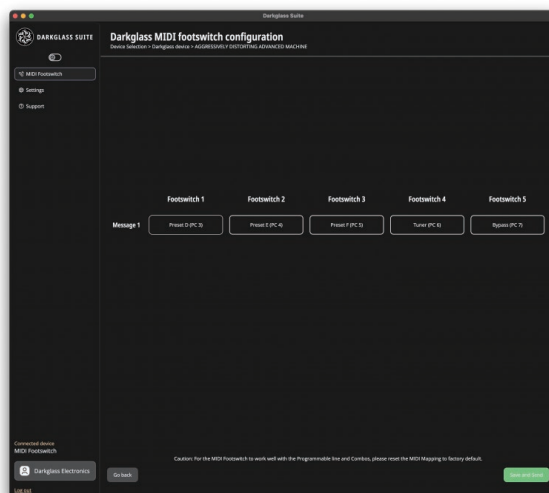
アンブ

- ・ Exponent 500
- ・ Infinity 500 combo

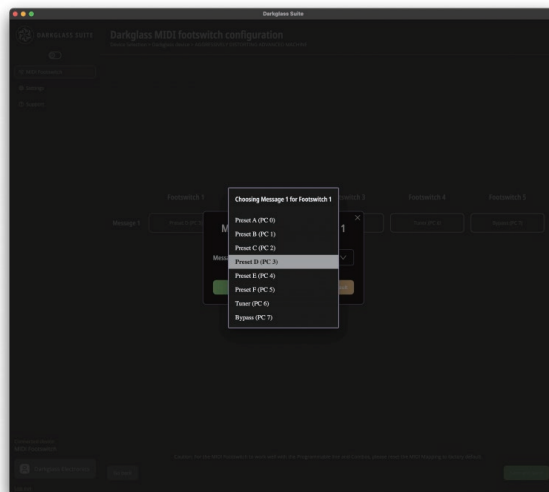


Programmable ペダル

プログラマブル・ペダル・ラインでは、初期設定にプリセットD、E、F、チューナー、バイパスが設定されています。



メッセージをクリックすると、対応するフットスイッチのメッセージをプリセットA～F、チューナー、バイパスのいずれかに変更できます：



・ Save and Send ボタンを押して、MIDI Footswitchに設定を適用します。

これらのコンフィギュレーションを正しく動作させるには、プログラマブル・ライン・ペダルのMIDIマッピングを工場出荷時のデフォルトにリセットしてください。

Exponent 500

MIDI FootswitchはExponent 500と自動的に同期し、プリセットの変更やエフェクトのバイパスを可能にします。シンクさせるには以下の手順に従ってください：

1. Syncがまだ有効になっていない場合は、Darkglass SuiteでExponent 500 Syncを有効にします。最初の同期を待っている状態では、LEDを横切るマルチカラーの波で示されます(ファームウェア1.3以降)。
2. プリセットごとのフットスイッチにエフェクトバイパスをバインドするために、Darkglass SuiteをExponent 500に接続します(詳細は以下をご参照ください)。
3. MIDIフットスイッチを7ピンMIDIケーブルでExponent 500に接続し、シンク中に電源を供給し続けます。
4. MIDI FootswitchをUSB-C経由でExponent 500に接続してシンクします。MIDI FootswitchのLEDが点滅して同期を示し、準備ができるとExponent 500のプリセットの色になります。

- これでUSBケーブルを外し、Exponent 500を7ピンMIDIケーブル経由でMIDIフットスイッチでコントロールできるようになります。

同期後、MIDIフットスイッチは以下のように動作します：

トップページ(プリセット1~5)

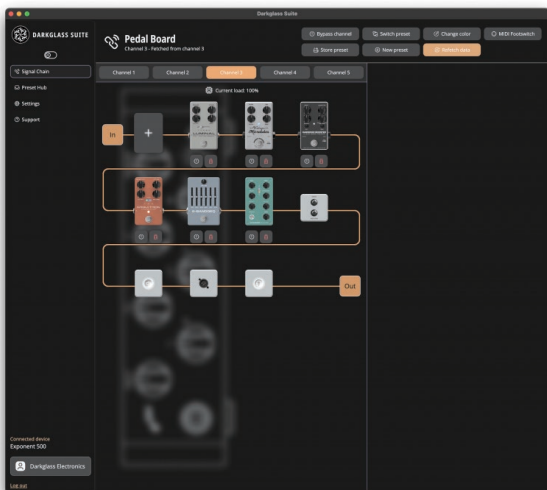
- ・同期直後のトップページでは、各フットスイッチのLEDがE500のプリセットのカラーになっています。フットスイッチを押すと、LEDが明るく表示されているプリセットに切り替わります。
- ・すでに選択されているプリセットのフットスイッチをもう一度タップするとミュートが有効になり、チューナーにもアクセスできるようになります。ミュートされたチャンネルはLEDの点滅で表示されます(ファームウェア1.3以降)。

サブページ(エフェクトのON/OFF1~5)

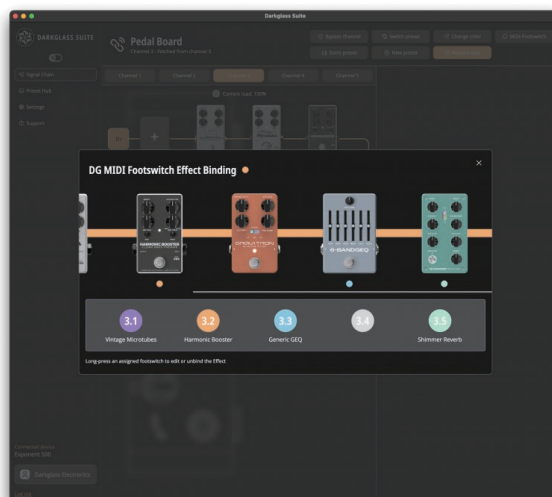
- ・フットスイッチを長押しすると、対応するプリセットに切り替わりそのプリセットのページに入ります。点灯している各LEDは1つのエフェクト・ブロックに対応し、そのカラーはE500 Suiteにも表示されているエフェクト・タイプの色に対応しています。フットスイッチで各エフェクトのON/OFFを切り替えることができます。LEDの明るさは、エフェクトがONかOFFかを示します。
- ・いずれかのフットスイッチを長押しして、トップページのプリセット選択に戻ります。

Exponent 500 Suiteでフットスイッチをエフェクト・バイパスにバインドする

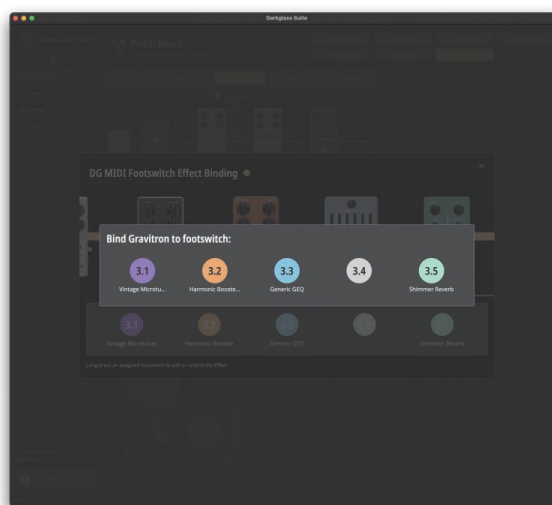
フットスイッチをエフェクト・バイパスにバインドするには、E500をSuiteに接続します(デスクトップ版ではUSB経由、モバイル版ではBluetooth経由)。Signal Chainタブの右上のMIDI Footswitchボタンをクリックします：



- ・開いたウィンドウで、エフェクト・バイパスをフットスイッチにバインドできます：



- ・まずエフェクトを1つ選択し、ポップアップ・ウィンドウでバインドするフットスイッチを選択します：



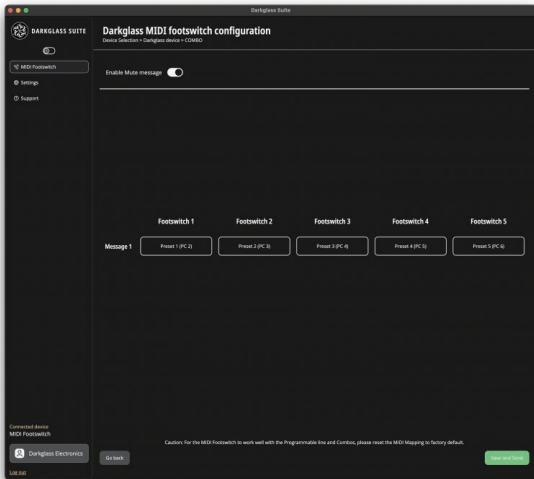
- ・割り当てられたフットスイッチを長押しすると、エフェクトを編集またはバインド解除できます。

プリセットのフットスイッチ・バインディングまたはシグナル・チェーンを変更した後は、MIDI FootswitchとExponent 500をUSB-Cケーブルを接続してMIDI Footswitchと再同期する必要があることにご注意ください。バイパス以外のエフェクト・パラメーターの変更はMIDI Footswitchから独立しており、再同期の必要はありません。

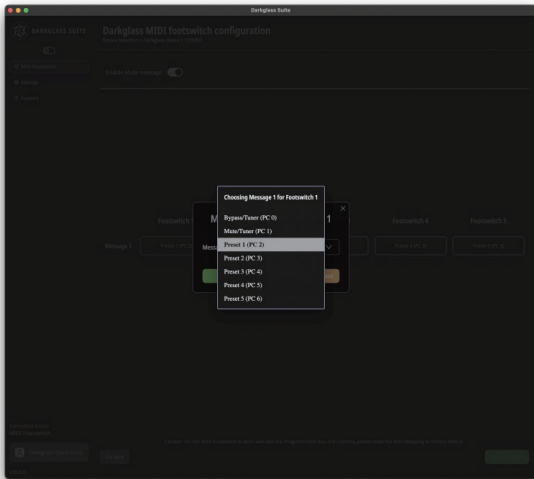
Exponent 500のシンクがMIDI Footswitchに対して有効になっているにもかかわらずシンクが確立していない場合、シンクされるか、MIDI Footswitch Suiteから別のコンフィギュレーションが選択されるまで、すべてのLEDがぼんやりと白く点灯し、MIDI Footswitchはフットスイッチを押しても反応しませんのでご注意ください。

Infinity 500 Combo

Infinity 500 Comboの場合、初期設定はMIDI Footswitchの工場出荷時の設定と同じです：各フットスイッチで5つのプリセットから1つを選択し、同じフットスイッチをもう一度押すとデバイスがミュートされ、チューナーにもアクセスします。



メッセージをクリックすると、対応するフットスイッチのメッセージをプリセット1~5、Bypass、Muteのいずれかに変更できます。Enable Muteメッセージのトグルは、同じフットスイッチを2回目に押したときにミュート・メッセージを送信するかどうかを決定します。ミュートされたチャンネルはLEDの点滅で表示されます(ファームウェア1.3以降)。



Save and Send ボタンを押して MIDI Footswitch に設定を適用します。

これらのコンフィギュレーションを正しく動作させるには、Infinity 500 ComboのMIDIマッピングを工場出荷時のデフォルトにリセットしてください。

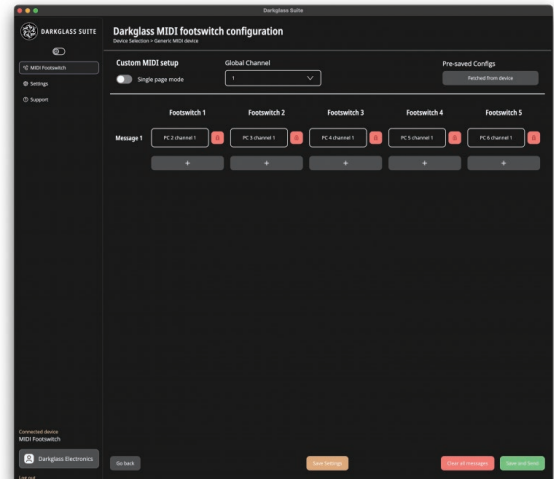
ジェネリックMIDIデバイスの設定

ジェネリックMIDIデバイス・オプションにより、独自のMIDIメッセージ・マトリックスを構築し、フットスイッチを1回押すだけで送信されるMIDIメッセージのセットを定義することができます。

【ページ・モード】

シングルページ・モードとマルチページ・モードの2つのオプションがあります。

シングルページ・モードでは、フットスイッチを1回押すごとにMIDIフットスイッチから同時に送信するコマンド(プログラム・チェンジ/コントロール・チェンジ)を最大24個まで追加できます。メッセージの送信順は上から下への順番です。



マルチページ・モードでは、トップページと5つのサブページの計6ページで、MIDIメッセージのカスタム・セットを設定できます。フットスイッチを押すたびに送信するコマンドを最大4つまで同時に追加できます。

ドロップダウン・セレクトページからページを選択すると、そのページにあるすべてのフットスイッチのメッセージが設定されます。フットスイッチもSuiteで選択したページに移動します。

各ページごとにそれぞれLEDカラーがあり、それはSuiteのページ選択とメッセージの周りの枠にも表示されます。

トップページ: 白

サブページ1(フットスイッチ1.1-1.5): 紫

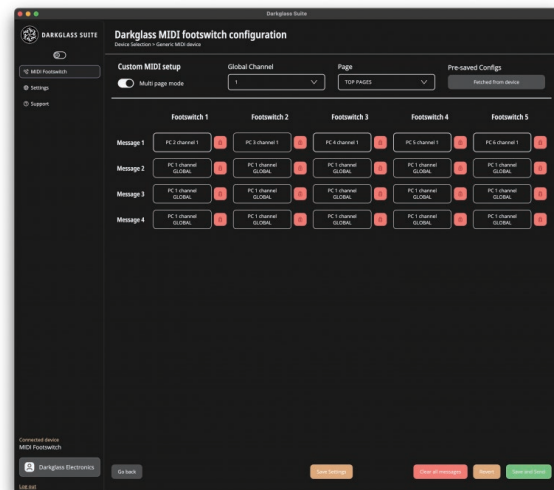
サブページ2(フットスイッチ2.1-2.5): オレンジ

サブページ3(フットスイッチ3.1-3.5): 青

サブページ4(フットスイッチ4.1-4.5): 赤

サブページ5(フットスイッチ5.1-5.5): 緑

トップページのフットスイッチを長押ししてサブページに移動します。例えばフットスイッチ4を長押しするとサブページ4に移動し、LEDが赤く点灯します。フットスイッチを短く押し、フットスイッチ4.1-4.5設定で定義されたメッセージが送信されます。いずれかのフットスイッチを長押しすると、白いLEDで示されるトップページに戻ります。



シングルページ・モードとマルチページ・モード間を移動すると、フットスイッチ1つあたりの最大メッセージ数が異なるためフットスイッチとページに設定されたメッセージの順番が入れ替わることに注意してください。

ジェネリック・モードのLED

ファームウェア1.3以降では、ジェネリック・モードでどのフットスイッチにメッセージが割り当てられているかをLEDで表示します。1つ以上のメッセージが割り当てられている場合、そのフットスイッチのLEDは暗く点灯し、最後に押されたフットスイッチが明るく点灯します。フットスイッチが押され、すでに点灯しているLEDにメッセージが送信されると、素早く点滅します。ページ全体にメッセージが割り当てられていない場合は、すべてのLEDがそのページカラーで点滅します。

MIDIチャンネル

MIDI チャンネルは MIDI デバイス間の通信経路です。16の MIDI チャンネルが利用可能で、それぞれを異なる MIDI デバイスにアサインすることができます。

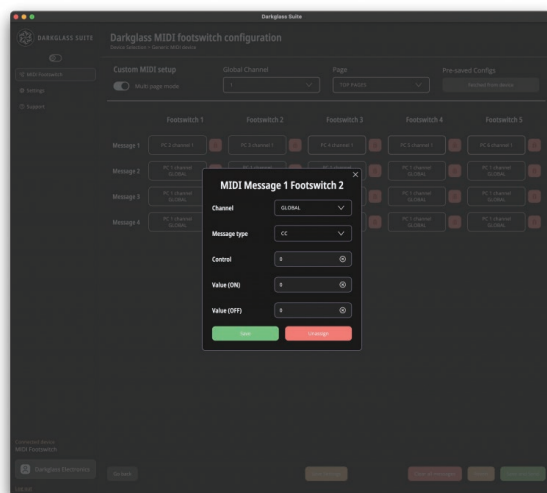
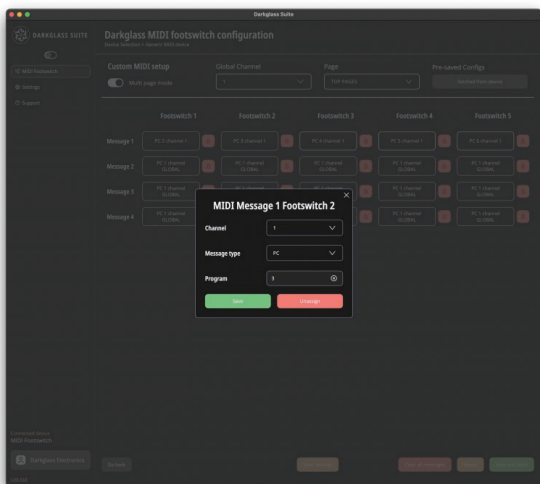
OMNI チャンネルを選択すると、16 チャンネルすべてを同時に使用します。メッセージに OMNI がアサインされている場合、そのメッセージは 16 チャンネルすべてに送信されます。

グローバル・チャンネル

グローバル・チャンネルのドロップダウン選択により、グローバル・チャンネル(OMNIを含む)を選択することができます。選択されたグローバル・チャンネルは、GLOBALが選択されているすべてのメッセージに使用されます。グローバル・チャンネルを変更すると、その変更は GLOBALを選択したすべてのメッセージに適用されます。

メッセージ

プラスボタンを押すと選択したページのフットスイッチにメッセージを追加でき、赤いゴミ箱をクリックすると削除できます。クリックするとメッセージ設定のポップアップが開きます。



メッセージのオプション

- ・チャンネル: GLOBAL、1-16、OMNI
メッセージを送信するMIDIチャンネルです。OMNI と GLOBAL については上記の説明を参照してください。
- ・メッセージ・タイプ: PC(プログラム・チェンジ)またはCC(コントロール・チェンジ)
- ・その他のオプションはメッセージのタイプによって異なります。
 - PC: プログラムナンバー 0-127
 - CC:
 - コントロールナンバー 0-127
 - バリュー(ON) 0-127
 - バリュー(OFF) 0-127

CCメッセージ ON/OFFバリュー

CCメッセージはONとOFFで別々のバリュー(値)を持ちます。両方に同じ値が設定されている場合、フットスイッチを押すたびに同じ値が送信されます。それぞれ異なる値が設定されている場合、最初に押すとONの値、次に押すとOFFの値、次に押すとONの値が送信されます。これにより、例えば受信デバイスのON/OFFタイプのコントロールをフットスイッチに割り当て、MIDIフットスイッチと受信デバイスをこのコントロールに関して同期させることができます。マルチページ・モードでは、特定のページのフットスイッチのON/OFF状態は、別のページに移動して、その間に同じフットスイッチを別のコントロールに使用しても持続します。MIDI Footswitchを再起動してSuiteから設定を変更すると、フットスイッチの状態はOFFにリセットされ、最初に送信されるメッセージは再びONの値になります。

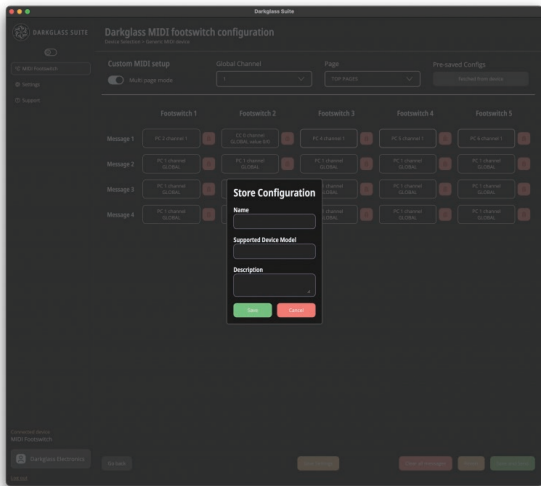
設定の管理

好みのメッセージの設定が完了したら、緑色のSave and SendボタンをクリックしてMIDI Footswitchに設定を送信します。これでフットスイッチを押すたびに、設定に従ったMIDIメッセージが送信されるようになります。

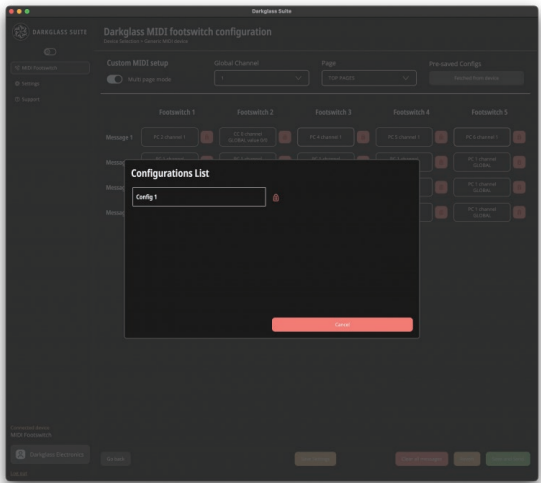
最後にMIDI Footswitchに設定を送信してから行ったメッセージとグローバル・チャンネルの変更を元に戻すことができます。Suiteに表示されるコンフィギュレーションはデバイス上のコンフィギュレーションに対応します。

Clear all messagesでは、設定したメッセージをすべて削除して最初からやり直すことができます。

黄色いSave Settingsボタンをクリックすると、Suiteで設定を保存することもできます：



保存されたコンフィギュレーションは、「Pre-saved Configs(保存済みコンフィギュレーション)」の下にあるボタンをクリックして検索し、読み込むことができます：



USB MIDI

MIDI Footswitchは、USB経由でもMIDIメッセージの入出力をルーティングします(ファームウェア1.3以上が必要)。ルーティングは以下の通りです：

MIDI Routing		Destination	
		MIDI OUT/THRU connector	USB (to computer)
Source	MIDI Footswitch	x	x
	MIDI IN connector	x*	x
	USB (from computer)	x	

* MIDI THRUはDarkglass Suite > Settingsで無効にできません。

ファームウェア・アップデート

MIDIフットスイッチは、Darkglass Suiteを使用したUSB経由でのファームウェア・アップデートに対応しています。

Darkglass Suiteは、利用可能なファームウェア・アップデートを自動的に通知します。

現在のファームウェア・バージョンとファームウェア・アップデートはDarkglass SuiteのSettingsタブで確認することができます。

アップデート中は、MIDIフットスイッチを外したり、Suiteを

を閉じたりしないでください。

Dimensions

Width: 276 mm

Length: 54 mm

Height: 54.6 mm

Weight: 150 g

Warning

MIDI Footswitchは15mAの電流を消費します。センターマイナスのプラグが付いた安定化されたDC9Vアダプターのみを使用してください。安定化されていない電源や規定よりも高電圧を使用すると、ノイズ・パフォーマンスが最適化されず、ユニットが損傷し、保証が無効になる場合があります。

※ 製品の改良等により、予告なく仕様の変更となることがございます。予めご了承ください。

※ 正規輸入品以外は保証・修理の対象外となりますのでご注意ください。

——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市長区焼山1丁目813番地

E-MAIL: support@kyoritsu-group.co.jp